

「Yahoo!ニュース | 本屋大賞 2019年ノンフィクション本大賞」の受賞作品はブレイディみかこさんの「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」に決定！

本屋大賞実行委員会

ヤフー株式会社

[Yahoo!ニュース | 本屋大賞 2019年ノンフィクション本大賞](#)

ヤフー株式会社が運営する日本最大級のインターネットニュース配信サービス「Yahoo!ニュース」と、書店員が「面白かった」、「お客様に勧めたい」と思った本への投票で決定する「本屋大賞」が連携した「Yahoo!ニュース | 本屋大賞 2019年ノンフィクション本大賞」は、全国の書店員の投票によるノミネート6作品の選出と、さらなる書店員の投票を経て、大賞受賞作品をブレイディみかこさんの「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」に決定しました。



◆「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」について

優等生の「ぼく」が通う元・底辺中学は、毎日が事件の連続。人種差別丸出しの美少年、ジェン

ダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とパンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていく。落涙必至の等身大ノンフィクション。

【著者プロフィール】 ブレイディみかこ Mikako Brady

保育士・ライター・コラムニスト。1965年福岡市生まれ。県立修猷館高校卒。音楽好きが高じてアルバイトと渡英を繰り返し、1996年から英国ブライトン在住。ロンドンの日系企業で数年間勤務したのち英国で保育士資格を取得、「最底辺保育所」で働きながらライター活動を開始。2017年に新潮ドキュメント賞を受賞し、大宅壮一メモリアル日本ノンフィクション大賞候補となった『子どもたちの階級闘争——ブローケン・ブリテンの無料託児所から』をはじめ、『花の命はノー・フューチャー』、『ヨーロッパ・コーリング——地べたからのポリティカル・レポート』、『労働者階級の反乱——地べたから見た英国EU離脱』など著書多数。

◆ブレイディみかこさんからのコメント

この本は、事件の真相を暴いたり、危険な場所に潜入したりするノンフィクションではありません。海外生活エッセイ、育児エッセイとして手に取る方も多いでしょう。

しかし、「いま世界に何が起きているか」ということは、地べたの風景にこそ浸み出しています。「ミクロな生活とマクロな政治は直結している。その回路を繋ぎ直せ」というわたしのテーマは、ストレートな政治・社会時評を書いていた頃から少しも変わるものではありません。本作では間口をオープンにし、中高生から中高年まで読んでいただけるよう執筆上の冒険をしました。本のプロである書店員さんたちに認めていただけたのは、何よりの光栄です。ありがとうございました。

◆書店員さんからの推薦コメント

「誰かの靴を履いてみること」

この本は、凝縮するときとそこに行き着くのだと思う。つまりは、他人の立場に立って物事を考えてみる、という意味なのであるが、実際やろうとしてもなかなか難しいものだ。

でも、この本の著者と息子は、自身が差別されようとも、他人を思いやる心を忘れず、強く強く生きる。息子である「僕」はいつも、自分で誰かの靴を履くことを厭わない。どんな理不尽な目に遭おうとも。なんて、かっこいいんだろう。

恥ずかしくなるぐらいに、学ばべきことが多い一冊でした！この本をいつでも読めるいろいろな場所に置いて、できる限り多くの子どもたちに読んでほしいです。もちろん大人たちにも、読んだ子どもたちとたくさんお話が出来るように読んでもらいたいです。日々成長していく子どもたちに負けちゃあ“クール”じゃないですものね。こんなに「読んでほしい！広めたい、この認識を！」と感じる親子の日常はなかなかありません。

他の書店員さんからの推薦コメントや、読者の声を特設サイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

「Yahoo!ニュース」は、世の中の重要なニュースをいち早くお届けするだけでなく、長期的な視点で事象を深掘りする記事や、さまざまな分野の有識者や専門家による記事を掲載する

「Yahoo!ニュース 個人」などのコーナーを拡充し、ニュースを通して世の中の課題を解決していくことを目指しています。

世界で起きている事象をさまざまな視点から切り取るノンフィクション作品も、事象への知識や考えを深めていただくきっかけになるものと考え、昨年度より「Yahoo!ニュース | 本屋大賞 ノンフィクション本大賞」を実施しています。

また、「Yahoo!ニュース | 本屋大賞 2019年ノンフィクション本大賞」特設サイトでは、ノンフィクション本に興味を持っていただくきっかけを作るべく、読書好きで知られる著名人の皆様におすすめのノンフィクション本をご紹介いただく「おすすめノンフィクション本」企画を実施し、計28作品をご紹介しています。

▼おすすめノンフィクション本

「Yahoo!ニュース」は本賞を通して、より多くの方に良質なノンフィクション作品の魅力を伝え、作品に親しんでいただくことを目指すとともに、受賞者をはじめとする優良な書き手や出版社、書店とのつながりを深め、その活動を支援していきます。



(写真：高橋宗正)